

インフルエンザの発生状況(富山県)

【第 35 週（ 2026/8/24～8/30 ）感染症発生動向調査速報値（ 2026/9/2 時点）】

定点医療機関※新規患者報告数： **79** 人、定点医療機関当たり **1.65** 人

※急性呼吸器感染症定点（旧インフルエンザ/COVID-19定点、小児科29定点、内科19定点）

図1. 患者報告数の推移(富山県)

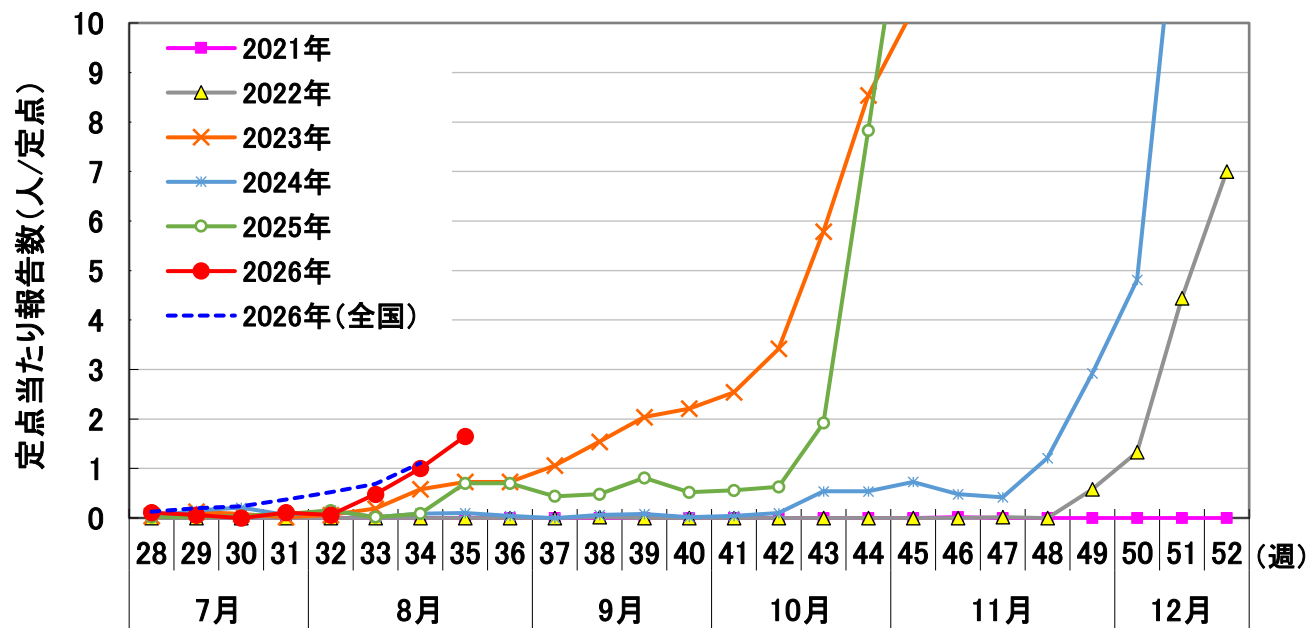
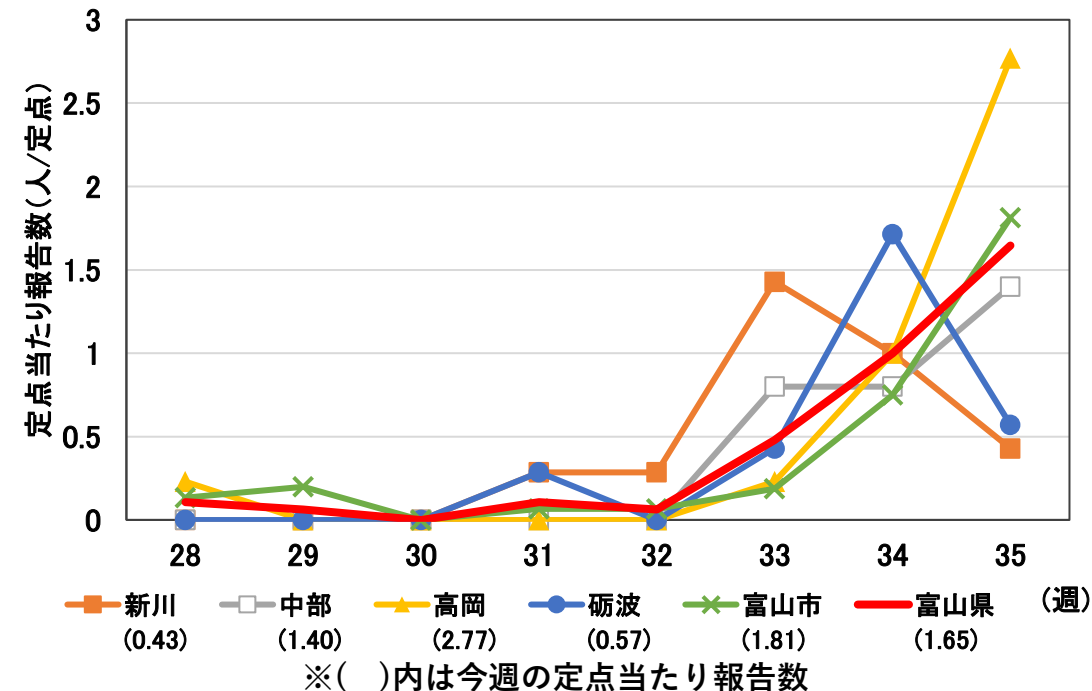
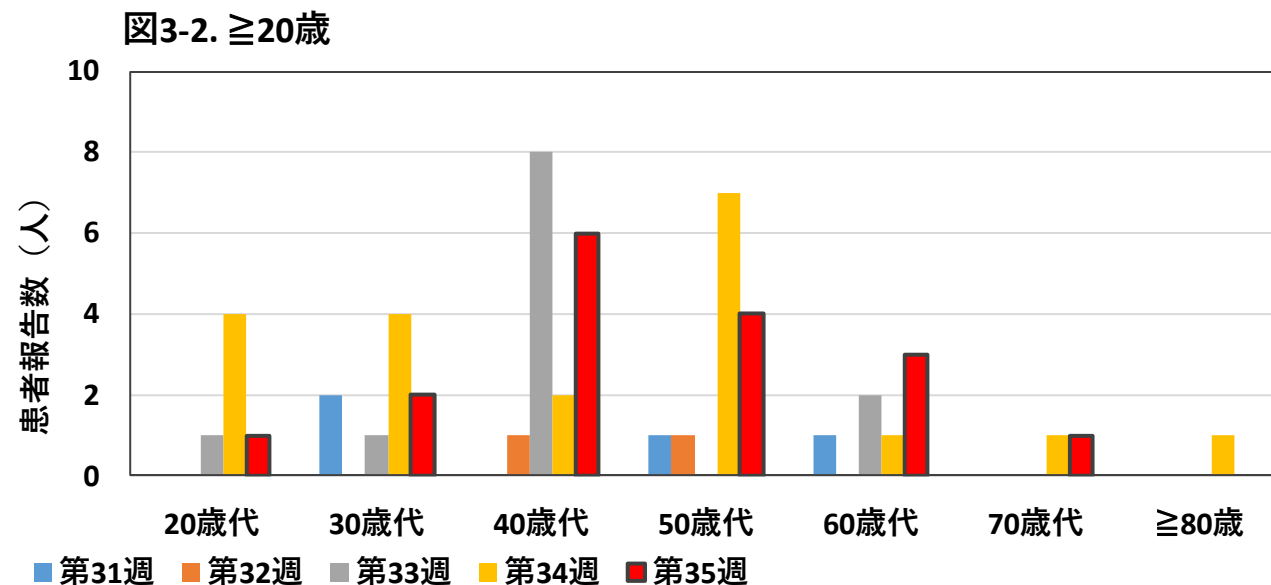
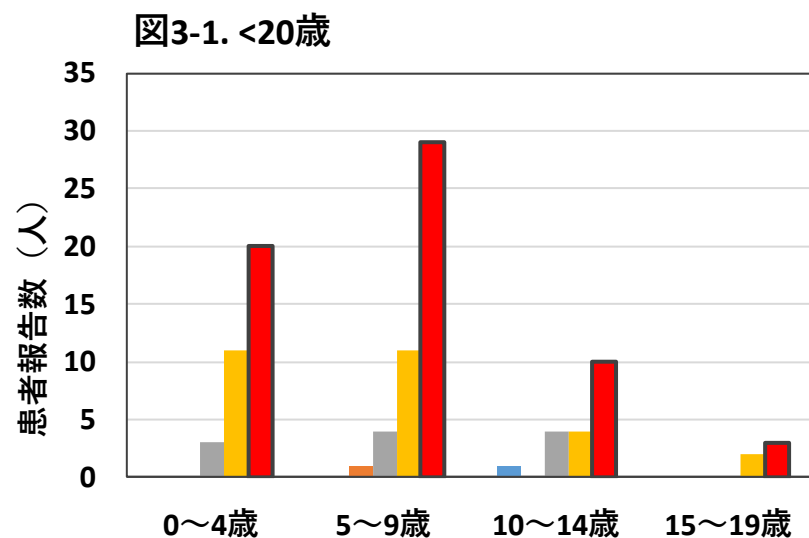


図2. 厚生センター・保健所管内別患者報告数の推移



- 富山県の患者報告数は今週1.65人/定点となり、流行入りの目安である1.0人/定点を超えた（図1）。
- 厚生センター・保健所管内別に見ると、中部、高岡、富山市管内で先週から増加した（図2）。

図3. 年齢階級別インフルエンザ報告数の推移（富山県）



- 20歳未満、40歳代、60歳代で先週から増加した。

図4. 都道府県別インフルエンザ報告状況(第34週)

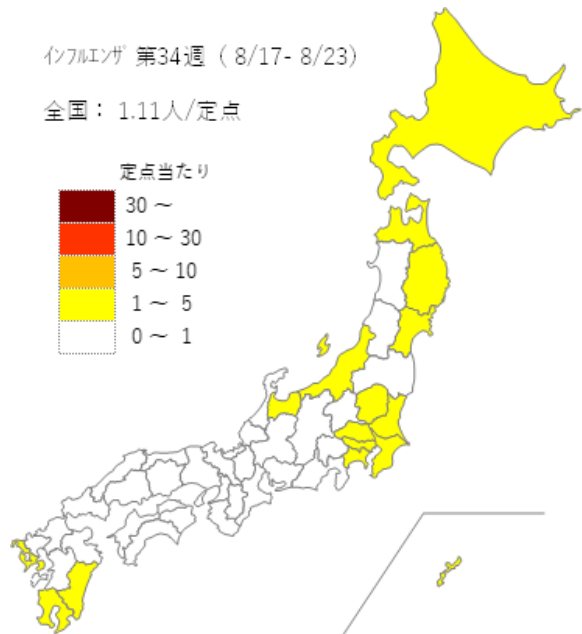


図5. インフルエンザ入院サーベイランス

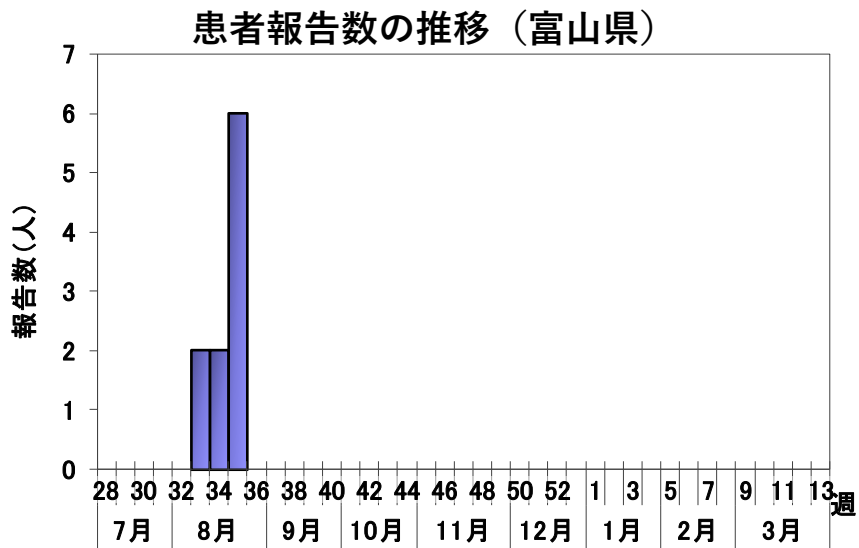
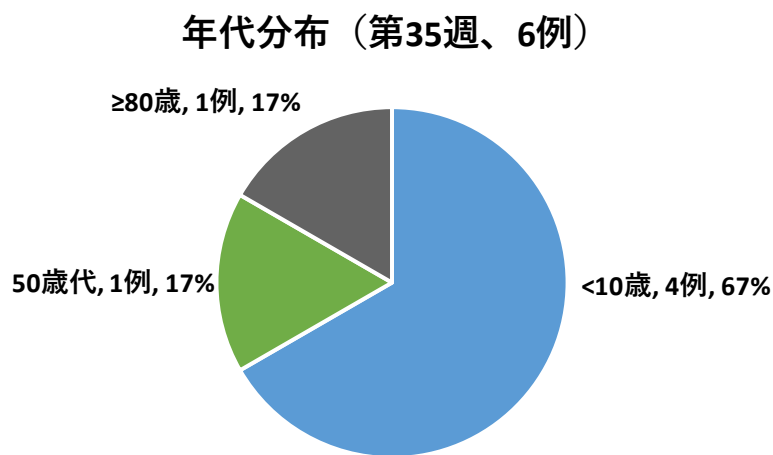


図6. インフルエンザ入院サーベイランス



- 全国では第34週に1.11人/定点となり、第33週（0.69）から増加した。都道府県別にみると、15都道県※で流行入りの目安である1.0人/定点を超えている（図4）。 ※富山県は第34週に1.00人/定点のため、15都道県に含めない
- 県内5か所の基幹定点医療機関を対象に実施するインフルエンザ入院サーベイランスでは、今週6例の報告があり、先週（2例）から増加した（図5）。
- 入院患者の年代は、10歳未満が4例、50歳代、80歳以上が各1例であった（図6）。
- 県内の患者報告数は今週流行入りの目安である1.0人/定点を超え、流行期に入ったと考えられた。10歳未満で特に報告数が増加したことから、乳幼児および児童を中心に感染が拡大していると考えられた。新学期がはじまり、学校等での感染や成人への感染拡大も懸念され、今後の発生動向を注視する必要がある。